





ボタン型電池(リチウム電池)についてのご注意  
 接触不良を防ぐため、使用する前に電池を乾いた布でよくふいてください。

**リチウム電池の交換時期**  
 リチウム電池は、時計や記憶してある曲のバックアップ用です。乾電池や外部電源を使用しているときから電源が供給されます。それらの電源がなくなっていないときは約3か月で消耗します。乾電池を交換した後、時計が初期状態に戻っていたらリチウム電池を交換してください。交換後、時計やプリセットの設定も直してください。

**アルカリ乾電池を入れる(図回)**  
 1. 電池入れのふたを、押しながら矢印の方向にずらして開ける。  
 2. 正しい向きで、単3形アルカリ乾電池を4本入れる。  
 ①の向きを乾電池ケース内の表示に合わせ、必ず②の向きで電池を入れてください。(図回)

**電池の持続時間**  
 ソニー単3形(LR6)アルカリ乾電池使用(EIAJ)<sup>1)</sup>  
 CD (ESP動作時) 約17時間  
 ラジオ 約17時間  
 \* EIAJ 日本電子機械工業会 規格による測定値です。

**電池の交換時期**  
 乾電池が消耗してくると、表示窓に「」が点滅します。完全に消耗するまで「」が点灯します。その場合は、乾電池を本体と同じ種類の新しいアルカリ乾電池と交換してください。「」表示が点灯になると、すべての操作ができなくなり、時計のみ表示されます。乾電池を交換したあとは、CD/FMまたはRADIO・SLEEPボタンを押して表示窓の「」を消してください。

**電池入れのふたがはずれたときは(図回)**  
 電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっていきます。はずれた場合は、図のように取り付けてください。

**コンセントで使うには**  
 AC/ワープアダプターをDC INの(外部電源)端子につなぎます。アダプターはDC INの端子とコンセントにしっかりと差し込んでください。乾電池が入っている場合自動的に外部電源に切り換わります。表示窓が常時照明されますので、それから操作をしてください。  
 コンセントへ

**電圧を合わせ(ワールドモデルのみ)**  
 付属のAC/ワープアダプターの電圧をお使いになる地域の電圧に合わせてから、コンセントにつけてください。アラガがコンセントと合わないときは、付属のACプラグアダプターをお使いください。

**ご注意**  
 ・ 電池の液もれを防ぐために、コンセントでお使いの場合は、電圧を取り出しておくことをおすすすめます。  
 ・ 長期間使わないときは、AC/ワープアダプターをコンセントから抜いてください。これはDC INのコンセントを差込みます。内部のマイコンのバックアップ用としてリチウム電池を入れておいてください。  
 ・ 押込みながらAC/ワープアダプターから電圧が供給されなくなった場合は、乾電池から電圧が供給されます。  
 ・ この製品には、付属のAC/ワープアダプター(続性続形プラグ/EIA規格)をご使用ください。上記以外のAC/ワープアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

**内蔵スピーカーで聞くには**  
 本体のふたの内側にスピーカーがあるので、ふたを開けてお聞かせください。

**ご注意**  
 ・ 演歌面の手を触れないようにしてください。  
 ・ 絨やテープを表面に貼らななくてください。  
 ・ 直射日光があたることと高温の場所や、直射日光下で車を閉めた車の中に放置しないでください。

**時計を合わせる**  
 初めて乾電池を入れたときは表示窓に「AM 12:00」が点滅し、「LOCAL」も表示されます。  
 ・ 時計は12時間表示です。AMは午前、PMは午後です。(AM 12:00-真夜中、PM12:00-正午)

**ローカル時刻を合わせる**  
 1. WORLD/LOCALボタンを押して、表示窓に「LOCAL」が表示されます。  
 2. CLOCKボタンを2秒以上押ししたままにする。  
 時刻表示(時)が点滅します。

1. TUNE/SCAN TIME SETの+または-ボタンで時を合わせ、CLOCKボタンを押す。  
 ・ ボタンを押すと数字が戻ります。ボタンを押しながら数字が変わります。  
 2. 時の設定が終了したらCLOCKボタンを押す。


1. TUNE/SCAN TIME SETの+または-ボタンで分を合わせ、CLOCKボタンを押す。  
 CLOCKボタンを押すと時計が動き始め、「:」が点滅します。

**ワールド時刻を合わせる**  
 1. WORLD/LOCALボタンを押して、表示窓に「WORLD」が表示される。  
 2. CLOCKボタンを2秒以上押ししたままにする。  
 「TIME OFF」(ローカル時刻との時差が表示されます)が表示されます。

1. TUNE/SCAN TIME SETの+または-ボタンで数字を消し、「:」を押すと数字が戻ります。ボタンを押しながら数字が変わります。  
 2. 数字の設定が完了したらCLOCKボタンを押す。

**電源について**  
 本機は、マンガラム乾電池でもご使用になれますが、必ずアルカリ乾電池をお使いください。  
**バックアップ用のリチウム電池を入れる(図回)**  
 1. 本体の背面を上側にして、先の細いものでリチウム電池入れの右側の穴を押してリチウム電池入れを引き出す。  
 2. ①を正しくしてリチウム電池CR2025を入れる。カチッと音がするところで押し込む。

**ご注意**  
 ・ ワールドモデルでは、時間(時)のみ設定ができます。リチウム電池だけではCDやラジオを聞くことはできません。必ず乾電池またはAC/ワープアダプターでもご使用ください。

**サマータイム\*を表示するには**  
 D.S.T. SUMMER ボタンを押します。「」が表示窓にあらわれ、時刻がサマータイムに変わります。(表示時刻は1時間進んだ時刻になります。)

もとの表示に戻すにはもう一度ボタンを押すとサマータイムは解除されます。  
 \* サマータイム(夏時間)とは、日照時間を有効にするため、夏の一定時刻を標準より1時間進める制度です。欧米などで広く使われています。

**AM放送の周波数ステップ間隔を切り換える**  
 このラジオは工場出荷時、AM 9 kHzの周波数間隔で受信するように設定されています。10 kHzステップで放送している地域で受信しなくなる場合は、周波数ステップを切り換えてください。

地域	周波数ステップ
北米・南米の国々	10 kHz
その他の国々	9 kHz

1. ■OFF・ALARM RESETボタンとBANDボタンを「ピピピ」と鳴るまで約5秒押ししたままにする。

・ 周波数ステップが切り換えられると、プリセット番号に記憶していた放送局の記憶は消えます。

**CDを聞く**

1. CDを入れる

△OPENボタンを押してふたを開ける  
 図回参照

レーベル面を上にして  
 図回参照

ふたを閉める  
 図回参照

2. CD/IIボタンを押す  
 はじめに、表示窓に録音数と演奏時間が出ます。演奏中は演奏中の曲名と、その経過時間が出ます。  
 3. VOLUMEつまみで音量を調節する。

**ご注意**  
 CD/IIボタンを押してから演奏が始まるまで通常約12秒かかります。また、CD/IIボタンを押してからCDが回り始めるまで数秒かかる場合がありますが故障ではありません。

**操作**  
 一時停止する CD/II  
 一時停止を解除する CD/II  
 飛ばしている曲を再生し FM (1曲目押し)  
 (AMS)\*機能  
 前の曲、さらに前の曲を FM (繰り返し押し)  
 戻しする (AMS機能)  
 次の曲を再生しする FM (1曲目押し)  
 (AMS機能)  
 さらに次の曲を再生しする FM (繰り返し押し)  
 (AMS機能)  
 戻る(リターン) 1/4 (押ししたままにする)  
 戻る(リターン)機能 FM (押ししたままにする)  
 再生を止める ■OFF・ALARM RESET  
 \* AMSはAutomatic Music Sensor\*略称です。曲の頭を探し機能です。  
 \*\* これらの操作は、演奏中にも一時停止中でもできます。

**CDの取り扱いについて**  
 ・ 演奏面を手を触れないようにしてください。  
 ・ 絨やテープを表面に貼らななくてください。  
 ・ 直射日光があたることと高温の場所や、直射日光下で車を閉めた車の中に放置しないでください。

図回参照

**ご注意**  
 ・ CDを聞いているときは、CDのふたを開けないでください。CDが開れることがあります。  
 ・ CD/IIボタンを押してもCDが回らないとき、表示窓に「00」が表示されて、数秒間点滅します。

**いろいろなお聞かせ(PLAY MODE)**  
 通常の演奏の他に、いろいろな演奏の方法が選べます。CD PLAY MODEボタンを押すごとに表示窓の表示が次のようになります。希望の聞かせを選択してお聞かせください。

表示なし  
 ↓  
 SHUFFLE  
 ↓  
 SHUFFLE REPEAT ALL  
 ↓  
 REPEAT 1  
 ↓  
 REPEAT ALL

**順不同に聞く**  
 表示窓に「SHUFFLE」の表示が出るまでCD PLAY MODEボタンを繰り返し押す。  
**順不同に並びかえて、繰り返し聞く**  
 表示窓に「SHUFFLE REPEAT ALL」の表示が出るまでCD PLAY MODEボタンを繰り返し押す。この状態でCDを聞くと同順で全曲を演奏し、さらに繰り返しします。  
**1曲だけを繰り返し**  
 表示窓に「REPEAT 1」の表示が出るまでCD PLAY MODEボタンを繰り返し押す。この状態でCDを聞くと同曲を繰り返し演奏します。

**全曲を繰り返し**  
 表示窓に「REPEAT ALL」の表示が出るまでCD PLAY MODEボタンを繰り返し押す。この状態でCDを聞くと同曲を繰り返し演奏します。

**ご注意**  
 ・ シヤッフル演奏中は、1/4を押しても前の曲には戻りません。  
 ・ 本機のリズム機能は、CD PLAY MODEボタンは使用できません。

**音飛びを防ぐには(ESP)**  
 ESP (Electronic Shock Protection) 機能はCDのデータ約100分ずつ電子回路に転入しておくことにより、音飛びを防ぎます。移動中、歩行中車の中など振動の多いところで聞くときは、この機能をお使いください。

**ESP機能を使う**  
 本体側のESPボタンを押して、表示窓に「ESP」、表示させます。  
 ・ 工場出荷時の設定は、「ESP」になっています。  
 ESP機能を解除するには「ESP」の表示が消えるまでESPボタンを2秒以上押ししたままにします。

**ご注意**  
 ・ 音飛びを防ぐと演奏が停止することがあります。  
 ・ 次のような場合、ノイズが出たり、音が飛んだりすることがあります。  
 ・ 古いや傷のあるディスクを聞いているとき  
 ・ 特殊な記号が入ったディスクなどを読み取れないとき  
 ・ 演奏中にESP機能を切り換えると、少しの間、音が止まります。  
 ・ 本機のリズム機能は、ESP機能を切り換えるときはできません。

**ラジオを聞く**

**マニュアル選局**

1. RADIO・SLEEPボタンを押す。  
 2. BANDボタンでバンドを選択。  
 FM1&FM2はプリセットボタンに記憶しておくときに使います。ラジオが聞くとともに、どちらに合わせた音が出ます。  
 3. TUNE/SCAN TIME SETの+または-ボタンを押して聞きたい周に合わせる。  
 ・ を押すと数字が消え、. を押すと数字が戻ります。  
 ボタンを2秒以上押ししたままにすると「SCAN」表示が出ます。表示窓の録音数と演奏時間に変わり、指を離すと止まります。  
 4. VOLUMEつまみで音量を調節する。

**内蔵スピーカーで聞くには**  
 本体のふたの内側にスピーカーがあるので、ふたを開けてお聞かせください。

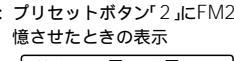
**ご注意**  
 ・ 端子にヘッドホンをつなぐとスピーカーから音がでなくなります。  
 ラジオを止めるには ■OFFボタンを押します。

**良い受信状態に聞くには**  
 FMロッドアンテナの長さや方向を調節する。  
 AMアンテナは内蔵されており、ラジオの向きや受信状態が変わるため、最も良く受信できる方向にしてください。(ステーション名と全周波の上で使っていると受信状態が悪くなる場合があります。)

**スク্যান選局(自動選局)**  
 自動的に放送局を受信してしま、放送を受けることができます。放送局を簡単に選局できます。

1. RADIO・SLEEPボタンを押す。  
 2. BANDボタンでバンドを選択。  
 3. TUNE/SCAN TIME SETの+または-ボタンを押して聞きたい周に合わせる。  
 4. 希望の周の放送が聞こえたら、TUNE/SCAN TIME SETの+または-ボタンを押す。  
 スキャン選局が止まります。  
 5. VOLUMEつまみで音量を調節する。

**プリセット選局**  
 いつも聞く放送局をFM1、FM2に各5局とAMIC5局、合わせて15局までプリセットボタン1-5に設定しておくことができます。聞きたい周の周波数を一度記憶させておくだけで、後はこれらのプリセットボタンを押すだけで正確な受信ができます。

1. プリセットするには「マニュアル選局」または「スク্যান選局」で、希望の放送局を受信する。  
 2. 記憶させたい番号のプリセットボタン(1-5)を選んで「ピピピ」と音がするまで押ししたままにする。  
 例: プリセットボタン2にFM2の87.50 MHzを記憶させたいとき  


プリセットした放送局を変更するには変更したい放送局を表示させ、新しく記憶させたい放送局をプリセットします。前にプリセットされていた放送局は消えます。


1. RADIO・SLEEPボタンを押してラジオを選局状態にする。  
 2. もう一度、RADIO・SLEEPボタンを押す。  
 表示に、「(SLEEP)」と「90」が点灯します。  
 3. RADIO・SLEEPボタンを繰り返し押しして希望の時間を表示させる。  
 押すごとに次のように切り換わります。

設定した時間を受信するにはRADIO・SLEEPボタンを繰り返し押しして希望の時間を待ちます。  
 途中で電源を切るには SNOOZEボタンを押します。

**希望の時刻にCD、ラジオ、ブザー音を鳴らす**

予約した時刻に、CD、ラジオまたはブザー音を鳴らすことができます。

**アラームを設定をする**  
 1. ALARM TIMEボタンを2秒以上押ししたままにする。  
  
 アラームの時刻表示窓が点滅し、別の時刻を設定します。

2. TUNE/SCAN TIME SETの+または-ボタンで時を合わせ、ALARM TIMEボタンを押す。  
  
 「分」が確定され、アラーム時刻が設定されます。

3. TUNE/SCAN TIME SETの+または-ボタンで分を合わせ、ALARM TIMEボタンを押す。  
 「分」が確定され、アラーム時刻が設定されます。  
 4. ALARM MODEボタンを押して使いたいアラームを選び、マークを表示させる。  
 押すたびに次のようにマークが切り換わります。  
 → CD → RADIO → BUZZER

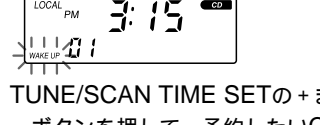
予約した時刻になると、設定されたアラームの音が鳴ります。  
 アラーム時刻を確認するにはめざまし・時刻ボタンを押します。  
 ご注意  
 ・ ラジオおよびブザーは約60秒後自動的に消えます。ラジオの音は一旦です。VOLUMEつまみの位置には関係ありません。  
 ・ CDのアラームは、ディスク枚を演奏して終了した「SHUFFLE REPEAT ALL REPEAT」、REPEAT ALLに設定されているときは、約60分で切れます。

**アラームを止めるには**  
 ■OFF・ALARM RESETボタンを押します。翌日も同じ時刻にアラームが鳴ります。

**アラームを解除するには**  
 ALARM MODEボタンを繰り返し押しして、「CD」、「RADIO」、「BUZZER」のマークを消します。

**もう少し寝ていたいとき(スヌーズ機能)**  
 1. SNOOZEボタンを押す。  
 CD、ラジオ、ブザーの音がいったん止まり、8分後、自動的に動作します。  
 ・ スヌーズ機能が設定されているときは、「CD」、「RADIO」または「BUZZER」のマークが点滅します。


**好みのCDの曲で起せる(WAKE UP TRACK)**  
 FMロッドアンテナの長さや方向を調節する。  
 向きや受信状態が変わるため、最も良く受信できる方向にしてください。(ステーション名と全周波の上で使っていると受信状態が悪くなる場合があります。)

1. ALARM MODEボタンを繰り返し押しして、「CD」のマークを表示させる。  
 2. 表示窓の「WAKE UP」が点滅するまでALARM TRACK/STATIONボタンを押ししたままにする。  


3. TUNE/SCAN TIME SETの+または-ボタンを押して、予約したいCDの曲番を通す。  
 4. ALARM TRACK/STATIONボタンを押しして決定する。  
 設定された時刻になると選んだ曲から演奏が始まります。

**ご注意**  
 ・ SHUFFLE、SHUFFLE REPEAT ALLに設定している場合はWAKE UPとは関係なく再生します。  
 ・ 選んだ曲番が10を超過されているときは、別のCDに入れ替えても曲番は同じです。  
 ・ CDのアラームを設定している場合でもCDを入れていないと、予約した時刻になるとブザー音が鳴ります。

**好みのラジオの放送局で起せる(WAKE UP STATION)**  
 プリセットした周を選んで、予約した時刻に音を鳴らすことができます。  
 1. ALARM MODEボタンを繰り返し押しして、「RADIO」のマークを表示させる。  
 2. 表示窓の「WAKE UP」が点滅するまでALARM TRACK/STATIONボタンを押ししたままにする。  


3. TUNE/SCAN TIME SETの+または-ボタンを押して、予約したい周のプリセット番号を選ぶ。  


4. ALARM TRACK/STATIONボタンを押して決定する。  
 設定された時刻になると選んだプリセットの周を受信します。

**便利機能**  
**低音を強調する**  
 MEGA BASSスイッチをONにします。音がわずかなだように聞こえる場合はOFFにします。  
**暗いところで時計を見るには**  
 SLEEP OFF/LIGHTボタンを押します。表示窓が約10秒間照明されます。コンセントでお使いのときは常時照明されます。


**使用上のご注意**  
**取り扱いについて**  
 ・ 次のような場所に置かないでください。  
 ・ 温度が非常に高いところ(40℃以上)。  
 ・ 直射日光のあたる場所や電磁波の近く。  
 ・ 風呂場など湿気の多いところ。  
 ・ 窓を開け切った自動車(特に夏季)。  
 ・ ほこりの多い所。  
 ・ 落としたり、強いショックを加えたりしないでください。故障の原因になります。  
 ・ ラジオの内部に液体や異物を入れてください。汚れたときは、濡らいた布でふいてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。

キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気を変化し、使えなくなることがありますのでご注意ください。  
 ・ ヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターにご相談してください。

**ヘッドホンで聞くときのご注意**  
 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音外に混雑します。音量を上げすぎず、まわりの人の迷惑にならないように気をつけてください。  
 雑音の多いところで音量を上げすぎると音が聞きづらくなる場合があります。ヘッドホンを装着して音量を安定してください。

**デッキの取り扱いについて**  
 本機では円形ディスクのみをお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(薄型、ハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となる場合があります。

**故障とお考えになる前に**  
 修理にお出しになる前に次のことをお調べください。  
 音がしない  
 ・ 電池が消耗している。  
 ・ 乾電池の向きを正しく入れる。  
 ・ AC/ワープアダプターをコンセントにしっかり差し込む。  
 ・ 音量を調節する。  
 ・ スピーカーで聞くときは、ヘッドホン端子から抜く。

CDが動作しない  
 ・ 表示窓に「」が点灯していたら乾電池を4本とも交換する。  
 ・ シーベル面を上にしてCDを正しく入れる。  
 ・ CDのふたが開閉していませんか。  
 ・ CDの汚れがないかクリーニングする。

CDの音が弱く、CDの汚れがないかクリーニングする。  
 ・ レンズの汚れ、クリーニングする。  
 ・ 振動のない場所に置く。  
 ・ ESP機能を使用する。

予約した時刻になってもCD、ラジオ、アラームが働かない  
 ・ 時計を正しい時刻に合わせる。  
 ・ アラーム設定時刻を確認する。  
 ・ CDが正しく入っているか確認する。  
 ・ CDのふたが開閉していることを確認する。  
 ・ VOLUMEの音量を確認する。

時計が初期状態に戻ってしまう  
 記憶させた放送局が消えている  
 ・ バックアップ用のリチウム電池が消耗している  
 リチウム電池を交換する。

**保証書とアフターサービス(ワールドモデルのお客様へ)**  
**保証書について**  
 ・ この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。  
 ・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。  
 ・ 保証期間は、お買い上げ日より、日本国内では1年間、海外では90日です。  
 ・ 海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

**アフターサービスについて**  
 調子が悪いときはまずチェック表をご覧ください。それでもお直りしないときは弊社サービスへお問い合わせください。保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご確認ください。  
 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご予算により有料修理させていただきます。

**部品の保有期間について**  
 当ではラジオの修理用部品、製品の機能を維持するために必要な部品、製造打切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障原因によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、海外ソニーサービス特約店にご相談ください。なお補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指針にもよるものです。

**主な仕様**  
 CDプレーヤー部  
 型式: コンパクトデジタルオーディオシステム  
 デジタル出力: 200mW  
 ワウフラッター: 消磁昇降式(EIAJ)<sup>1)</sup>  
 周波数特性: 20-20,000Hz ±1.5dB (EIAJ)  
 ラジオ部  

バンド	周波数範囲	周波数ステップ
FM	76-108 MHz	0.05 MHz
AM	531-1,710 kHz	9 kHz
FM	76-108 MHz	0.1 MHz
AM	530-1,710 kHz	10 kHz

**共通部**  
 時刻表示: 12時間表示  
 スピーカー: 直径φ4.5cm、8Ω 2個  
 実用最大出力: 200mW ±20dB (EIAJ)  
 出力端子: (ヘッドホン) 端子(φ3.5mm ステレオミニジャック)  
 電源  
 本体用:  
 ・ DC 6V 乾電池(アルカリ乾電池 4本)  
 ・ 外部電源DC IN (端子)

ワールドモデルは、付属のAC/ワープアダプターを接続してAC 100V/120V/200-240V/50/60 Hzから動作可能なシンガポールモデルは、付属のAC/ワープアダプターを接続してAC 220V-230V/50 Hzから動作可能  
 バックアップ用  
 DC 3V、リチウム電池 CR2025 1個  
 最大外形寸法: 約165.5mm×173mm(幅角/奥行き) × 47mm(電池のたけ幅 EIAJ)  
 質量: 約660g(電池含む)

付属品  
 ソニーリチウム電池CR2025(×1)  
 ソニー単3形アルカリ乾電池(×4)<sup>2)</sup>  
 AC/ワープアダプター(×1)  
 ACプラグアダプター(×1)<sup>3)</sup>  
 イヤーバックフック(×1)  
 ステレオヘッドホン(×1)  
 取扱説明書(×1)  
 ソニーご相談窓口のご案内<sup>1)</sup>  
 保証書(×1)

**1)** EIAJ 日本電子機械工業会 規格による測定値です。  
**2)** ワールドモデルの付属品。  
**3)** ワールドモデル、シンガポールモデルの付属品。  
 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35  
 お問い合わせはお客センターへ  
 ●東京03(4646)3111 ●札幌011(252)2211 ●仙台022(55)59-1111



